

第33回 建築生産シンポジウム発表論文／報告の募集

昨今、建築生産をめぐる様々な課題や問題点が指摘されております。また、当該分野に対する期待も、少なからず持たれていることは確かであると考えられます。このような中、建築生産シンポジウムは、建築生産分野の技術向上、研究・開発ならびに教育の発展を図るとともに、関係者に技術や研究に関する交流の場を提供することを目的として開催しております。そのため、様々な領域の最先端の分析や将来展望などに関する、研究および取組みの成果を広く募集致します。その募集内容としては、「論文」と「報告」の 카테고リーを設けております。特に、「報告」カテゴリーでは、建築の施工事例なども取り上げます。なお、委員を中心に、若手研究者の発表に対する評価を執り行います。この対象は、2018年3月31日時点で30歳以下の方と致します。

より多くの研究者や実務者にご参加頂き、活発な議論や意見交換がなされることを期待しております。

<主催>建築社会システム委員会

開催期日ー論文／報告発表：2017年7月27日（木）・7月28日（金）

会場 —— 建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

発表分野

- 1) 建築生産一般：生産史、技術論、産業論、国際比較等
- 2) 産業構造・建築生産組織・職能をめぐる諸問題
- 3) 雇用・労働・人材育成・教育・資格
- 4) PM、CM、リスク・マネジメント等
- 5) 環境・資源問題：ISO・EMS、リサイクル等
- 6) 発注方式：入札／契約制度
- 7) 建築企画・発注者／ユーザーニーズ
- 8) 設計・監理：DR、コンストラクタビリティ、総合図等
- 9) 積算・コスト：工事原価、コスト管理、VE等
- 10) 工事計画・生産性：施工法、構工法選択等
- 11) 工程・労務・資材・安全・品質に関する管理技術：ISO・QMS、SCM等を含む
- 12) 維持管理・FM
- 13) 情報・通信技術の利用：現場ICT等
- 14) 機械化・自動化施工、3Dシミュレーション
- 15) BIM および関連技術

- 16) 施工新技術の開発と評価
- 17) 事例：プロジェクト、PFI、新事業、技術動向、組織変革等
- 18) その他 本シンポジウムに適合したテーマ

●論文／報告応募要領：論文／報告は梗概による登録（梗概の提出）と本論文／報告提出の2段階制とし、次の日程および要領による。

A. 登録（論文／報告梗概の提出）：締切日 3月6日（月）（事務局必着）

1) A4判用紙2枚以内（様式自由）に下記の項目を記載すること。

①論文か報告かの別、②論文／報告題目、③著者および所属（連名の場合は発表者に○印を付すること）。発表者は本会個人正会員であること、④連絡先：氏名・住所・電話番号・Eメールアドレス（必ず記載してください）、⑤論文／報告の希望ページ数（論文は6、8ページのいずれか、報告は4、6、8ページのいずれか）、⑥上記1)～18)の発表分野番号、⑦論文／報告梗概（邦文1,000字程度）

なお、論文／報告は同年度での（その1）、（その2）のような連番は避け単独に成立した内容とする。発表は一人一編とする。

論文および報告は以下の内容とする。

論文：独創性のあるもの。発展性の期待できるもの。新しい知見を与える有用性、実用性に富んだもの。信頼性が高く、学術的、技術的に価値のあるもの。

報告：建築物あるいはプロジェクトの企画・計画・設計・施工・運用に関する事例の報告や技術開発成果の報告。調査・開発による事実・資料の報告。設計法・施工法の体系化に関する技術の報告等、技術的価値や先見性のあるもの。

※報告カテゴリーでは、個人や企業所属の実務者の方々からも幅広く活動成果の発表を募集しております。

2) 郵送により提出すること。なお、本論文執筆要領ならびに採用通知などの入る送付用封筒（定型、92円切手貼付、宛名記入）を同封すること。（電子提出は不可となっております）

送付先：〒108-8414 東京都港区芝5-26-20

（一社）日本建築学会 第33回「建築生産シンポジウム」係

3) 論文／報告の採否は、内容・件数およびプログラム編成などを勘案して、本会建築社会システム委員会建築生産小委員会が選出する委員が査読し、登録申請者宛に採否の結果を通知する（4月中旬予定）。特別な理由のない限り、発表の辞退、交代は許可しない。梗

概の審査において「条件付採用」となった場合、本論文／報告にて再度審査を行う。付帯条件に沿っていない場合や、梗概段階において「採用」でも本論文／報告に著しく不備などがある場合は不採用となる場合があるので注意すること。

B. 本論文／報告提出：締切日 6月5日（月）（事務局必着）

1) 本論文／報告用紙は、白地のA4判とする。枚数は論文の場合6，8ページのいずれか、報告の場合4，6，8ページのいずれかとする。

2) 本論文／報告は執筆要領に従い執筆すること。

C. 著作権

1) 著者は、著作権を本会に委託する。ただし、本会は、第三者から文献等の複製・引用・転載に関する許諾の要請がある場合は、原著者に連絡し許諾の確認を行う。

2) 著者が、自分の論文／報告を自らの用途のために使用することについての制限はない。なお、掲載された論文／報告をそのまま他の著作物に転載する場合は、出版権に関わるので本会に申し出ること。

3) 編集出版権は、本会に帰属する。論文集の刊行－「第33回建築生産シンポジウム」論文集を編集のうえ刊行する（有料にて頒布）。また、電子化による公表を視野に入れた募集であり、その公表の権利も本会に帰すものである。

問合せー事務局事業グループ 浜田

E-MAIL hamada@aij.or.jp

TEL 03-3456-2057 FAX 03-3456-2058